

「森里海連環 高津川流域ふるさと構想」特区

[指定：平成23年12月、認定：平成29年3月]

I 目標に向けた取組の進捗に関する評価

i) + ii) の平均値 $(5+4.7)/2=4.9$

4.9

i) 取組の進捗

目標値に対する実績に基づく進捗度(当年度実績)

番号	評価指標	進捗度	評点
1	路網整備と計画的施業の推進	106%	5
2	地域資源を活用した農村定住・交流促進	158%	5
3	高津川流域の水質浄化及び川と海の水産資源の維持・増殖	113%	5

評価指標毎の進捗の評価の平均値 $(5 \times 3 + 4 \times 0 + 3 \times 0 + 2 \times 0 + 1 \times 0) / 3 = 5$

5.0

※1) 1つの評価指標に複数の数値目標がある場合は、各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均する。
(例) 評価指標1について、a、b、cという3つの数値目標があり、各数値目標の評点・寄与度がa:5・20%、b:4・10%、c:3・70%の場合、 $5 \times 0.2 + 4 \times 0.1 + 3 \times 0.7 = 3.5$ で、四捨五入して評価指標1の評価は「4」となる。

※2) 数値目標〇は複数の数値目標があり、※1のとおり各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均しているため、進捗度と評点が一致しない。

■ 地方公共団体による特記事項

※外部要因による数値への大幅な影響等があれば記載

ii) 取組の方向性に対する評価

専門家による評価の平均値

4.7

II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況に関する評価

i)、ii)、iii) の平均値 $(4.3+3.7+4.5)/3=4.2$

4.2

i) 規制の特例措置を活用した事業等の評価

専門家による評価の平均値

4.3

ii) 財政・税制・金融支援の活用実績の評価

専門家による評価の平均値

3.7

iii) 地域独自の取組の状況の評価

専門家による評価の平均値

4.5

Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決に関する評価

(専門家所見(主なもの))

4.0

- ・木質バイオマス発電への資材供給などで需要は開拓されたが、担い手不足は深刻な事態である。
- ・ある程度の成果を上げている今のうちに路線変更も含め将来の計画をしっかりと検討してはどうか。
- ・ほとんどの評価指標で目標値を達成しており、取組が順調に進捗している。
- ・高津川流域ならではの魅力の域外への発信にも力を入れること及びますます深刻になる有害鳥獣対策を一層推進されることが望まれる。
- ・観光や林業では、目標を達成し、順調に成果を上げている。
- ・新規就農者については、今後の動向に注意したい。
- ・地域資源を活用した交流促進への取組の成果が現れている。
- ・地域資源の活用のために継続的に関わる関係人口を視野に、多様にゆるやかに結ばれるような場づくりや先導モデルの構築にも期待したい。

専門家による評価(専門家の総合的な所見)の平均値

4.0

総合評価

I、II及びⅢを1:1:2の比率で計算 $(4.9+4.2+4 \times 2) \div 4=4.3$

4.3

(注)評価に係る評点及び表記の考え方については以下のとおり。

- ・評価は5～1(評点)で行う。
- ・進捗度は、100%以上を5、80%以上100%未満を4、60%以上80%未満を3、40%以上60%未満を2、40%未満を1とする。
- ・進捗度以外の評価項目における評点は、5:著しく優れている、4:十分に優れている、3:適当である、2:適当であると認めるには不十分である、1:適当であると認められないとする。